

働くものの命と暮らしを守り 貧困をなくすために

労働者のセーフティネットを考えるシンポジウム

厳しい雇用情勢のなか、真の雇用拡大と雇用安定はどうあるべきか、貧困をなくすためにはどうすべきかなどを、行政側、利用者、経営者のそれぞれの立場から意見交換し、憲法を活かす行政のあるべき姿を探求します。

みんなと一緒に考えてみませんか？

記念講演は「新しい福祉国家」論を説く後藤道夫教授をお迎えします。

パネラーは、労働行政・自治体・労働界の労働組合員が行う予定です。

是非ご参加ください！

記念講演

後藤道夫さん（都留文科大学教授）
プロフィール



1947年福島生まれ。一橋大学院博士課程単位取得。88年から都留文科大学文学部教授。専攻は社会哲学・現代社会論。著書に「反『構造改革』」「社会保障でしあわせになるためにー『社会保障基本法』への挑戦」（共著）など。貧困層が増えた90年代末以降、国内で最初に「ワーキングプア」という言葉を使ったとされる。

2月19日（土）
名古屋国際会議場
234会議室

開場 午後1時10分～

開演 午後1時30分～

資料代 500円



主催：労働者のセーフティネットを考えるシンポジウム実行委員会

実行委員：労働法制愛知連絡会、愛知労働問題研究所、愛知働くものの健康センター、東海労働弁護団、自由法曹団愛知支部、愛知県労働組合総連合、自治労連愛知県本部、名古屋市職員労働組合、全労働省労働組合愛知支部

後援：反貧困ネットワークあいち、愛知県社会保障推進協議会

連絡先：名古屋市中区丸の内3-18-12 カガベルF・B 中部ブロック国公内事務局 TEL052-228-0918